

長野県坂城町議会

さかき

No.157

令和2年4月30日

議会だより



疫病退散

(春祈禱 南日名若者連)

★「議会だより」アンケートを実施します★

■ ご協力をお願いします ■

1月臨時会、3月定例会

- ・村上小学校に蓄電池設置 …………… 2ページ
- ・「議会だより」アンケート …… 11～12ページ
- ・ここが聞きたい！一般質問13名 … 13ページ
- ・坂中3年生による模擬議会開催 … 21ページ

蓄電池設置 など

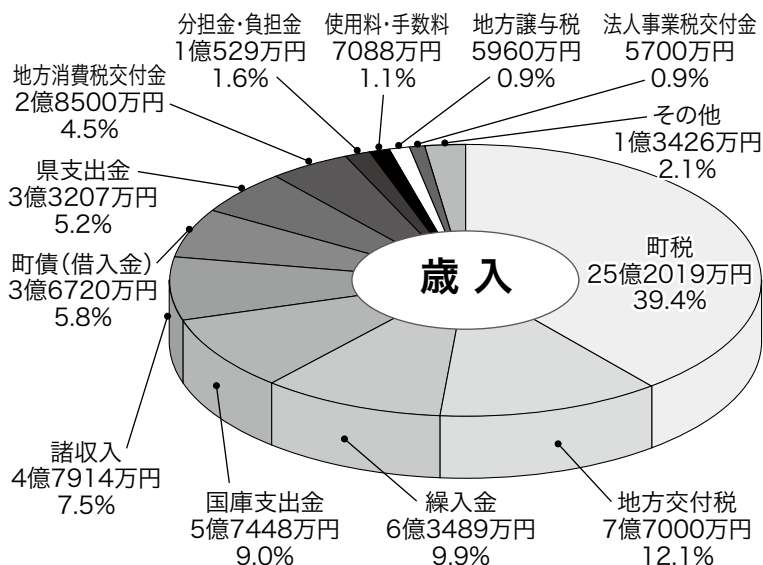
3月定例会 予算議会

106億6798万円

令和2年第1回定例会は3月2日に開会され、一般質問には13名が登壇した。令和2年度の一般会計予算をはじめ各特別会計予算、条例案及び令和元年度補正予算等を原案のとおり可決したほか、意見書1件の提出を可決し、19日に閉会した。

歳入

町税25億円余(対前年度6.9%減)



一般会計
63億9000万円
対前年度12.5%増

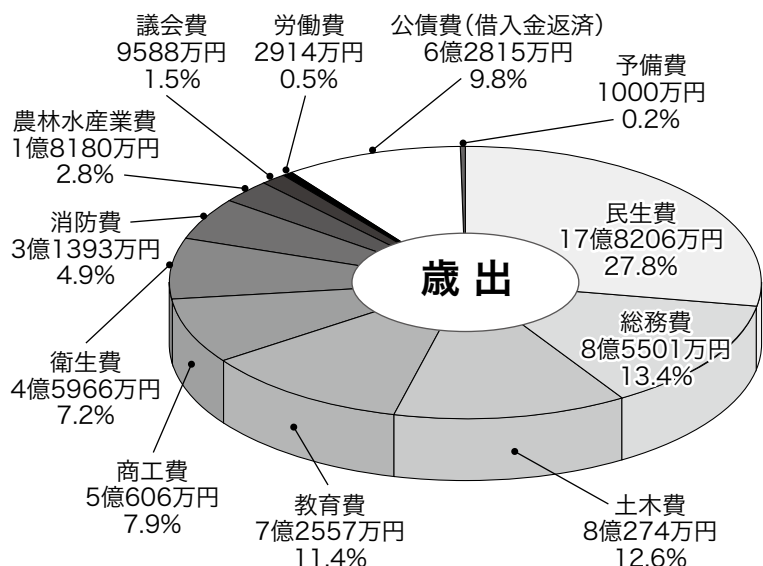
歳入

個人町民税は、前年度増を見込む一方、法人町民税は、税率改正の影響や町内企業の動向を精査する中で、41.2%の減額を見込み、町税全体では約1億8700万円、6.9%の減とした。

また、村上小蓄電池設置事業等により、国庫支出金は1億9400万円

歳出

新たな教育・文化事業へ



歳出

の増を、分担金及び負担金は幼児教育・保育無償化の導入に伴い保育負担金の減額、ふるさと納税は、実績を踏まえ増額を見込んでいる。

投資的経費は、前年度が骨格予算だったことから4億8300万円の大増となっている。道路・橋

梁修繕など継続的な基盤整備事業に加え、文化センター1体育館の耐震改修に向けた設計業務、災害時にも電力が供給できる村上小への蓄電池設置、中学校へのタブレット端末増設、骨髄バンクドナー助成、また、各種健診、予防接種などの継続事業のほか、総合計画、国土利用計画、画策定費用が計上された。

令和2年度予算 村上小学校に



令和2年度 坂城小学校入学式

予算総額

特別会計
42億7798万円
 対前年度4.6%増

会計名	予算総額	対前年度増減率
国民健康保険	14億3930万円	△6.0%
下水道事業	11億3186万円	31.7%
介護保険	14億7709万円	△0.4%
後期高齢者医療	2億2973万円	6.1%

国民健康保険

平成30年度より制度運営が都道府県単位に変わり、財政主体も県へ移行された。それに伴い、保険税を主な原資として、県へ納める事業費納付金と、県からの交付金を原資に支払う医療費に対する保険給付費等を計上し、保健事業を推進す

下水道事業

る。前年度対比6・0%、9242万円の減。

流域下水道及び町公共下水道の整備・管理を行う。本年度の完成を目的に、引き続き南条地区

の面的な整備を行う。前年度対比31・7%、2億7224万円の増。

介護保険

介護を必要とする高齢者が、安心して介護サ

後期高齢者医療

ビスが利用できるような事業を実施する。高齢者の自立を支援し、介護予防・重症化防止のほか、地域の支えあい体制づくりを進める事業を実施する。前年度対比0・4%、643万円の減。

本制度は長野県後期高齢者医療広域連合が運営しているが、町は保険料の徴収と窓口業務を行っている。前年度対比6・1%、1329万円の増。



待ちに待った再開
 (鼠橋運動公園マレットゴルフ場)

委員長報告

一般会計

総務産業・社会文教常任委員会では、付託された令和2年度一般会計予算案について、慎重に審査し、その結果を委員長が本会議で報告した。

総務産業常任委員会

スマートエネルギー 設備導入

委員長 滝沢幸映

歳入

税制改正等により
法人税の減

問 国有資産等所在市町村交付金および納付金の内容は。

答 県営住宅と高校職員住宅の固定資産税相当額が、県より交付される。

問 個人町民税と法人町民税の見込みは。

答 個人町民税は、当町は給与所得者が全体の85%であることから、統計調査等から前年対比2500万円の増を見込んでいる。

法人町民税は、法人所得の減少と、法人税割の税制改正による減少により、前年対比2億3500万円減の見込みである。

歳出

総務課

会計年度任用職員

問 新年度の常勤職員と、会計年度任用職員数は。

答 一般会計予算において、常勤職員は135人。会計年度任用職員は181人で、うちフルタイムの任用が25人、パートタイムの任用が156人の予算計上である。

問 固定資産の評価替え業務の内容は。

答 3年ごとに実施しており、現在は令和3基準年に向け、評価替え業務として行われている。2年度は路線価の算定・調査報告書作成等である。

会計室

公金収納手数料

問 公金収納手数料の件数の見込みは。

答 金融機関等での納付が1万1500件、コンビニでの納付が1万件で総額104万円を見込む。

企画政策課

総合計画策定

問 総合計画策定委託の内容と手順は。

答 住民アンケート調査の集計と分析のほか、基

礎調査、基本構想等の策定支援などを委託する。

住民アンケートの分析結果も踏まえ、計画素案策定を進め、早い段階で骨子を示したい。

問 国勢調査のスケジュールは。

答 令和2年10月1日を基準日とし、9月中旬に調査票を配布、10月中に回収予定である。

問 スマートエネルギー設備設置工事と設備の内容は。

答 停電時の電力確保と、平時の低炭素化実現のため

め、災害時等の避難場所となる村上小学校に蓄電池設置の工事を計画している。他の小学校についても順次検討していく。

商工農林課

新工業団地

問 水利施設個別計画の内容は。

答 農業用施設の長寿命化計画策定を行う。

問 新工業団地整備の計画予定は。

答 令和2年度は、2事業の実施を予定している。

団地造成事業は町土地開発公社に委託し、農振除外申請や開発行為申請書作成と、用地の一部取得を始める予定である。

また、基幹道路となるA09号線道路改良事業は、各種測量を行い用地取得を予定している。

問 「さかきものづくり展」の内容は。

答 10月上旬の開催を予定して、今後実行委員会を立ち上げて内容の検討を行う。「ものづくりの



村上小 太陽光発電システム

まち坂城」の魅力を町内外に広く発信し、町内企業の認知度の向上と、次世代を担う若者のUIJターン就業の促進につなげる機会とする。

建設課

しなの鉄道車両更新

問 道路橋梁費の橋梁修繕工事の場所は。

答 昭和橋、鼠橋、役場国道入口を計画している。

問 住宅の長寿命化計画の内容は。

答 平成22年に作成した計画の更新で、公営住宅団地の現状把握とライフサイクルコストの縮減等を図るための計画である。

問 しなの鉄道整備負担金の内訳は。

答 元年度から8年間、52両の車両更新を予定し、沿線市町村は、出資割合に応じ負担額が割り当てられる。

社会文教常任委員会

各種計画の策定・更新

委員長 大森 茂彦

住民環境課

防災計画策定

問 地域防災計画策定の内容は。

答 町地域防災計画の見直しに着手する。令和元年東日本台風災害を受けて大きく見直される国計画及び県計画との整合を図り3年度に策定の予定。

問 マイナンバーカードの交付実績及び交付率は。

答 本年2月末現在、累計で1468件、交付率は9・85%。役場に来庁された町民の方に対し、その場で申請手続きができるようタブレット端末を準備している。

問 資源回収奨励金事業

の内容は。

の内容は。

答 PTA、育成会など町内の非営利団体が回収した資源物の量に応じて奨励金を交付している。

福祉健康課

障害者計画策定

問 社会福祉協議会の介護事業収入が減少している要因は。

答 施設への入所等で社会福祉協議会が行う在宅サービスの利用が減少しており、特に、訪問介護は、平成23年度と30年度の比較で約4割減少している。

問 障害者計画等策定委員の内容は。

答 各計画相互の整合を図る必要があることからノウハウのある専門コン

サルタントへ委託を予定している。

問 災害見舞金は何件分か。

答 住宅の全壊2件、半壊2件、床上浸水2件分を見込んでいます。

問 胃検診と大腸検診の委託料の内訳は。

答 胃検診は280人、大腸検診は1135人分を計上した。

教育文化課

学力向上

問 児童生徒支援員の人数は。

答 学力向上・学習習慣形成支援員を小学校ごとに各3名、理科支援員を坂城・村上小学校に各1名。坂城中学校にフレンドリールーム支援員を1名、町全体で外国籍児童支援員を1名配置する。

問 大峰教室等自立支援事業についての内容と通室しない児童生徒の対応は。

答 登校が困難な児童生徒の学校生活への復帰を

目指し、指導員が学習指導や面談、電話相談、学校訪問などを行っている。また、教育コーディネーター、教育・心理カウンセラー及び県のスクールカウンセラーが学校や家庭を訪問し、学校と連携をとりながら対応している。

問 校舎等改修工事の内容は。

答 南条小学校プールシート改修工事、坂城小学校昇降口タイル改修工事、村上小学校地下タンク改修工事である。

問 分館等施設整備事業補助金の内容は。

答 立町公民館の建替え(新築)工事に加え、新地公民館トイレ改修及び下水道接続工事、金井振興センタートイレ男女仕切設置工事、田町公民館トイレ全般、床、雨樋等改修工事、南日名公民館空調設備工事、新町公民館床改修工事、月見公民館床改修工事への補助である。

問 遊園地の遊具管理の内容は。

点検、新規、撤去、施設等の管理費用であり、事業費の2分の1の補助で、上限は5万円である。元年度は鼠育成会の回転遊具の修繕に対し補助を行った。

問 給食センターで地元の食材はどのくらい使用しているのか。

答 現在7団体の生産者から、食材全体の約14%にあたる地元産材を使用している。



立町公民館

委員長報告

特別会計

各常任委員会では、付託された令和2年度の4特別会計予算案について、慎重に審査し、その結果を委員長が本会議で報告した。

一般会計と特別会計の違いは？

一般会計とは、地方公共団体において町民サービスの提供を始めとする行政運営の基本的な経費（福祉・教育・土木など）を計上している会計。

一方で特別会計は、事業目的を限定し、特定の収入をもって特定の支出に充てるため、一般会計と区別して経理する必要がある場合に設けられる会計。当町では、令和2年度は、下水道事業、国民健康保険、介護保険、後期高齢者医療の4会計がある。

下水道事業

総務産業常任委員長 滝沢幸映

基金残高は

問 令和2年度下水道使用料の見込みは。

答 接続見込み人口を前年度より2000人増の9700人と見込んだ。

問 下水道施設移設工事負担金の内容は。

答 坂城インター先線工事で既設の下水道管路施設が沈下してしまつたため、その移設工事に伴う県の負担金である。

問 公営企業会計適用債の内容は。また、充当率は。

答 人口3万未満の団体は、令和6年度から法適用となり移行準備業務の起債となる。事業費に対する充当率は100%である。

問 起債残高はどのくらいか。

答 令和2年度で57億5千万円となる見込みである。



下水道工事（新地）

国民健康保険

社会文教常任委員長 大森茂彦

低所得者層に配慮し改定

問 国保税について、3年連続での改定だが、税率設定の考え方は。

答 県から示される標準保険料率を参考に、激変が生じないよう、町独自に国保基金を入れながら上昇率を最小限に抑えている。昨年10月の消費税率の引き上げも考慮した。全体の48・3%にあたる所得が100万円未満の世帯は、平均0・65%の引き下げとなり、所得の低い層にも配慮した。

問 町の国保税は県内の他市町村と比較して高いのか。

答 平成30年度は速報値であるが、77市町村中、高い方から43位と中位より下であり、他市町村に比べ特別高い状況とは考えていない。

問 滞納者へのペナルティーは。

答 過年度分の滞納者につ

いては、短期証交付基準により保険証の交付を本年では出さず、短期証として発行している。

問 基金残高は。

答 令和2年度では約3800万円特別会計への繰入れを予定し、基金残高は7千万円を切る見込みである。

問 特定健診等事業費として、人間ドック委託料の内容は。

答 契約医療機関に対し、日帰り1万3千円、1泊2日1万5千円を支払う。

問 特定健診の受診者数と受診率は。

答 例年の実績から、集団検診9000人、個別健診1000人、情報提供2000人を見込んでいる。今年度の受診率は未確定だが、30年度は54・2%であった。

問 保健指導の実施状況は。

答 特定健診の集団健診受診者全員には、個別で結果を返している。個別

健診等受診者には、健診結果からフォローを要する場合、訪問や来所により個別指導を行っている。

介護保険

社会文教常任委員長 大森茂彦

徘徊高齢者検索システム

問 過年度滞納者の徴収の状況は。

答 介護保険と国保の両方に滞納がある場合は、国保を優先して納付してもらっているが、介護保険料の納付も促すなかで徴収に努めている。

問 長野広域の介護認定審査会への負担金負担率は。

答 均等割が10%、件数割が90%である。件数割は平成30年度の審査件数実績から算定される。

問 居宅介護福祉用具購入費と住宅改修費は。

答 福祉用具については

50件、住宅改修は35件程度を見込んでいる。

問 審査会の内容は。

答 調査員が調査・作成した調査票及び医師の意見書をもとに、介護度を判定するための審査を行い、疑義がある場合は町に照会がくる。市町村によって判定にばらつきが生じないよう、長野広域で審査を行っている。

問 介護認定を受けている方で、状態が変われば随時再調査を受けることはできるのか。

答 申請により再度調査を行い、新たに認定を受けることができる。

問 申請により再度調査を行い、新たに認定を受けることができるのか。

けることができる。

問 徘徊高齢者検索システムの内容は。

答 徘徊頻度が多い方の家族に、位置を検索できる機器を貸し出している。

問 高齢者訪問指導事業の内容は。

後期高齢者医療

社会文教常任委員長 大森茂彦

特別徴収と普通徴収

問 窓口負担が3割負担になる要件は。

答 市町村民税課税標準額が145万円以上の場合原則3割となる。

問 特別徴収と普通徴収の比率は。

答 特別徴収は68%、普通徴収は32%である。

問 国保から後期になるのと普通徴収になるのはどうしてか。

答 別の医療保険のため年金からの天引き情報を

答 事業は社協に委託しており、保健師等の専門職が高齢者のお宅を訪問し、健康指導等を行う。

問 地域支援事業を行っているグループの数は。

答 地域住民グループは、現在14グループがある。

第1回臨時会 議案審議

1月22日の臨時会では、変更契約の締結、補正予算など2件の議案を原案どおり可決した。

◆町道A01号線道路改良 ◆一般会計補正予算(第10号)

工事変更請負契約

◆一般会計補正予算(第10号)

◆町道A01号線道路改良

◆一般会計補正予算(第10号)

◆一般会計補正予算(第10号)

◆町道A01号線道路改良
◆一般会計補正予算(第10号)

◆町道A01号線道路改良
◆一般会計補正予算(第10号)

◆町道A01号線道路改良
◆一般会計補正予算(第10号)

◆町道A01号線道路改良
◆一般会計補正予算(第10号)

◆町道A01号線道路改良
◆一般会計補正予算(第10号)



若草橋 開通 (南条)

第1回定例会 議案審議

条例改正など

◆積立基金条例の一部改正
森林づくりを目的とする「森林環境税」が創設され、各市町村に「森林環境譲与税」として交付されることになり、「坂城町森林づくり基金」を設置する。

支払猶予や免除等を判断するために、貸付を受けた者等に報告を求め、官公署に資料の提供等を求めることができる旨を規定する。また、災害弔慰金等の支給に関する事項を調査審議するための機関を設置する。

◆坂城町固定資産評価審査委員会条例の一部改正
「デジタル手続法」の施行により、本条例中に引用している、法律の題名が改正されたこと等により改める。

◆特別職の職員で非常勤の者の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正
「災害弔慰金等支給審査委員会」の委員報酬を定める。また、令和2年4月から特別職の非常勤職員の任用が限定されることに伴う改正。

◆手数料条例の一部改正
「デジタル手続法」の施行により、交付手数料について規定。

◆災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正
町が貸付を行った災害援護資金に係る償還金の

放課後児童健全育成事業に従事する支援員について、必要な人員体制を確保するために、研修終了予定者も含むこととする

◆一般職の職員の給与に関する条例の一部改正
県人事委員会勧告に基づき、町の一般職について県の制度に準じて給与

る改正を行う。

◆国民健康保険条例の一部改正
国民健康保険税率について、県が算定した納付金を納める仕組みへと制度が改正され、納付金額を賄うため税率を改正。

◆町営住宅等管理条例の一部改正
認知症等による収入申告が困難な者について、町が収入を把握し、家賃を定める。入居者の債務不履行の場合は、敷金をもって債務弁済に充てる。

◆公民館条例の一部改正
会計年度任用職員としての任用に移行する「公民館長」及び「副館長」の任期を1年とする。

◆移動系防災行政無線整備変更請負契約
変更は工事期間の延長。新型コロナウイルス感

改定を行う。
改正内容は、若年層の給料月額額の引上げを行う。また、賃貸の住居手当についても改定する。

◆昭和橋の災害復旧工事変更請負契約
変更は工事請負費の減額及び工事期間の延長。

感染症の影響により、部品調達が遅延したことによるもの。

◆昭和橋の災害復旧工事変更請負契約
変更は工事請負費の減額及び工事期間の延長。

○主な内容

一般会計補正予算(第11号)補正額 △4824万円 ふるさと寄附金の増 ・文化センター駐車場用地取得 ・ふるさと寄附金返礼品経費 など
国民健康保険特別会計補正予算(第2号)補正額 △1565万円 ・保険給付費及び保健事業費の精算 など
下水道事業特別会計補正予算(第4号)補正額 △7807万円 ・災害復旧事業費の増 ・公共及び流域下水道事業費の精算 など
介護保険特別会計補正予算(第2号)補正額 △3133万円 ・保険給付費及び地域支援事業費の精算 など
後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)補正額 426万円 ・後期高齢者医療広域連合納付金 など

補正予算

人事

■人権擁護委員

田原 茂樹
(大宮)再任

■選挙管理委員及び同補充員(敬称略)

◎選挙管理委員
田中 徳一

堀内 憲治
(中之条)

小宮山 菜奈子
(南日名)

◎補充員
北澤 三男
(月見)

岩野 幸夫
(金井)

荒井 洋子
(中之条)

中村 耕一
(成久保)

滝澤 毅彦
(上平)

第1回臨時会(1月)並びに第1回定例会(3月)の審議結果

1 賛否が分かれた議案

(○は賛成、×は反対)

(議案名)		(議員氏名)													
		山城峻一	柘津明子	中島新一	大日向進也	栗田隆	玉川清史	滝沢幸映	朝倉国勝	吉川まゆみ	塩野入猛	中嶋登	大森茂彦	小宮山定彦	西沢悦子
条 例	国民健康保険税条例の一部改正	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○	議長 職
令和2年度 当初予算	国民健康保険特別会計	○	○	○	○	○ 賛成 討論	×	○	○ 賛成 討論	○	○	○	×	○	

2 全会一致で可決された議案

(1) 人事

- ① 人権擁護委員の推薦
- ② 坂城町選挙管理委員及び同補充員の選挙

(2) 契約

- ① 平成30年度社会資本整備総合交付金町道A01号線道路改良工事変更請負契約の締結
- ② 坂城町トータルメディアコミュニケーション施設整備事業移動系防災行政無線整備工事変更請負契約の締結
- ③ 令和元年度公共土木施設災害復旧事業橋梁災害復旧工事変更請負契約の締結

(3) 条例

- ① 積立基金条例の一部改正
- ② 固定資産評価審査委員会条例の一部改正
- ③ 手数料条例の一部改正
- ④ 災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正
- ⑤ 特別職の職員で非常勤の者の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正
- ⑥ 放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正
- ⑦ 国民健康保険税条例の一部改正
- ⑧ 町営住宅等管理条例の一部改正
- ⑨ 公民館条例の一部改正
- ⑩ 一般職の職員の給与に関する条例の一部改正

(4) 令和2年度予算

- ① 一般会計予算
- ② 国民健康保険特別会計予算
- ③ 下水道事業特別会計予算
- ④ 介護保険特別会計予算
- ⑤ 後期高齢者医療特別会計予算

(5) 令和元年度補正予算

- ① 一般会計補正予算(第10号)
- ② 一般会計補正予算(第11号)
- ③ 国民健康保険特別会計補正予算(第2号)
- ④ 下水道事業特別会計補正予算(第4号)
- ⑤ 介護保険特別会計補正予算(第2号)
- ⑥ 後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)

(6) 意見書

- ① 医師養成定員を減らす政府方針の見直しを求める意見書

3 全会一致で否決された議案……なし

4 陳情審査結果

件 名	提 出 者	付託常任委員会	審査結果
医師養成定員を減らす政府方針の見直しを求めることについて	長野県医療労働組合連合会 執行委員長 小林 吟子	社会文教	採択 意見書提出

これからの坂城町を語る

～ 議会報告会 (第13回) ～

日 時	班 名	場 所
7月 8日 (水) 午後7時～8時30分	総務産業	坂城テクノセンター 1F 大研修室
	社会文教	中心市街地コミュニティセンター 2F 会議室
7月 10日 (金) 午後7時～8時30分	総務産業	文化センター 1F 大会議室
	社会文教	旧農協村上支所 2F 会議室

※どの会場にもご参加いただけます。最寄りの会場にお出かけください。

◎ワークショップ形式で皆さんのご意見をお聞きします。

- 【意見交換のテーマ】 総務産業 ・「文化センター周辺の公共施設について」
 ・「人口減少について(空き家等)」
 社会文教 ・「防災について」
 ・「子育て支援について」

■班編成 (◎班長 ○副班長)

総務産業	◎滝沢幸映 ○中島新一	西沢悦子	塩野入 猛
	吉川まゆみ	玉川清史	大日向進也
社会文教	◎大森茂彦 ○栗田 隆	小宮山定彦	中嶋 登
	朝倉国勝	祢津明子	山城峻一

※新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、開催を延期する場合があります。

議員が地域に出向き、議会報告会を開催します。意見交換のテーマを定め、参加された皆さんと意見交換をさせていただき、意見交換のテーマを定め、参加された皆さんと意見交換をさせていただき、意見交換のテーマを定め、参加された皆さんと意見交換をさせていただき、意見交換のテーマを定め、参加された皆さんと意見交換をさせていただきます。

議 会 日 誌 (主なもの)

3月	2月	1月
26日 例月現金出納検査	27日 さかきテクノセンター理事会	31日 町議会運営研修会
25日 町土地開発公社理事会	26日 例月現金出納検査	28日 例月現金出納検査
19日 議会運営委員会	25日 さかきテクノセンター運営委員会	24日 坂城中学校3年生模擬議会
13日 さかきテクノセンター評議員会	21日 千曲衛生施設組合議会定例会	23日 上田地域市町村議会議員研修会
12日 議会全員協議会	20日 町議会議長会第30回定期総会	22日 議会運営委員会、第1回議会臨時会
2月18日 議会全員協議会	18日 議会全員協議会、町元家等対策協議会	21日 議会運営委員会
2月19日 3月議会定例会	17日 議会運営委員会	20日 議会運営委員会
	16日 長野県医療労働組合連合会陳情	19日 上田地域広域連合議会定例会
	14日 長野広域連合議会定例会	17日 長野広域連合議会定例会
	13日 葛尾組合議会定例会	16日 長野広域連合議会定例会
	12日 町公共施設等総合管理計画策定委員会	15日 千曲坂城消防組合議会定例会
	10日 町国民健康保険運営協議会	14日 町国民健康保険運営協議会
	6日 長野広域連合議会運営委員会(閉会中の調査)	13日 長野広域連合議会運営委員会
	5日 六ヶ郷用水組合議会定例会	12日 六ヶ郷用水組合議会定例会
	4日 議員研修会	11日 議員研修会
	3日 上田地域広域連合議会代表者会	10日 上田地域広域連合議会代表者会

議会事務局人事

■北村 一朗さん 新事務局長に

4月1日付けで、関貞巳事務局長が住民環境課長として異動しました。関局長には2年間、議会運営等にご苦労いただきました。後任として、総務課から北村局長を迎えました。新局長のご活躍を期待します。

アンケートにご協力ください

坂城町議会では、年4回の定例会開催後、「議会だより さかき」を発行し、本議会での審議結果と委員会での審査内容、一般質問を中心に、議会の様子を町民の皆様にお知らせしています。

編集にあたっては、これまでも随時、誌面の構成や内容について検討し、より皆様に読んでいただける「議会だより」になるよう努めて参りましたが、今後より一層町民の皆様に親しんでいただける「議会だより」にするため、皆様のご意見を伺いたくアンケートを実施することにいたしました。

ぜひとも、皆様の率直なご意見をお聞かせくださいますようお願いいたします。

アンケート募集期間 令和2年4月27日(月)～令和2年6月1日(月)

アンケート回収場所 坂城町役場【ロビー(1階)、議会事務局(4階)】
お使いボックス

お使いボックスは、坂城駅・テクノさかき駅・
びんぐし湯さん館・文化センターに設置されています。

◇ お近くの議員に手渡しでも結構です。

◇ 議会事務局あてのFAX、メールでも受け付けます。

(メールで提出される場合は、記入用のアンケート用紙(PDF、Word)が町のホームページにありますので、ご利用ください。)

FAX : 0268 - 82 - 8307 メール : gikai@town.sakaki.nagano.jp

★ 該当する箇所のに、をつけてください。また、その他にご記入ください。

1 性別を教えてください。

男性 女性

2 年齢を教えてください。

10歳代 20歳代 30歳代 40歳代
 50歳代 60歳代 70歳代 80歳以上

3 あなたは、「議会だより さかき」を読みますか。

読む ときどき読む 読まない

4 「議会だより さかき」の内容、掲載している項目で、議会の様子がわかりますか。

よくわかる まあまあわかる あまりわからない わからない

5 誌面についてお聞きします。

(1) 誌面の構成はいかがですか。

- 読みやすい 読みにくい どちらでもない

(2) 本文の文字の大きさはどうですか。

- 小さい 普通 大きい

(3) 掲載している写真の数はどうですか。

- 少ない 普通 多い

(4) 現在、表紙はカラー、本文はモノクロですが、いかがですか。

- 今のままで良い 全ページ、カラーの方が良い
 表紙はカラー、本文は2色印刷が良い

6 今回の議会報157号で関心をもってご覧になった記事を教えてください。

(複数回答可)

- | | |
|--|---|
| <input type="checkbox"/> 表紙(P1) | <input type="checkbox"/> 令和2年度予算(P2~3) |
| <input type="checkbox"/> 委員長報告・臨時会議案審議(P4~7) | <input type="checkbox"/> 第1回定例会議案審議(P8~9) |
| <input type="checkbox"/> 議会報告会、議会日誌(P10) | <input type="checkbox"/> 一般質問(P13~19) |
| <input type="checkbox"/> 委員会報告(P20) | <input type="checkbox"/> 坂城中3年生模擬議会(P21) |
| <input type="checkbox"/> 議員研修報告(P21) | <input type="checkbox"/> あすなろたち(P22) |
| <input type="checkbox"/> 余光(P22) | |

7 その他、自由にご意見、ご感想をお聞かせください。

.....

.....

.....

.....

.....

ご協力ありがとうございました。

ここが聞きたい！ 一般質問

(一般質問の文章は、質問者の責任で作成しています)

教育

「グローバルな子どもの育成」の具体的な施策は

一貫した英語学習を実施

問 2年度の町内3小学校の新入学者総数は104名である。この現状についてどのような見解をもっているか。

教育長 ご指摘の通り104名で、元年度の卒業生148名に対し44名の減となっている。平成26年度以降の出生者数の推移を見ると、毎年減少傾向にあったが、30年度においては増加に転ずるなど、年によってばらつき



栗田 隆 議員

問 2年度の町内3小学校の新入学者総数は104名である。この現状についてどのような見解をもっているか。

教育長 ご指摘の通り104名で、元年度の卒業生148名に対し44名の減となっている。平成26年度以降の出生者数の推移を見ると、毎年減少傾向にあったが、30年度においては増加に転ずるなど、年によってばらつき

がある状況となっている。「グローバルな子どもの育成」とあるが具体的な施策は。

町長 「グローバルな子どもの育成」のための施策として、町内には、県特別配置の英語専科の教員のほか、外国語指導講師(ALT)を配置し、保育園から中学校までの一貫した英語学習によりグローバルな子ども達の育成を行っている。



捨てなきゃいいのに

ぎない。立会いをしてまで分別収集を続ける意味はあるのか。

住民環境課長 リサイクルは世界的流れであり、

法律に定められた義務でもある。適正な分別のため、今後も立会いをお願いしたい。

質問項目

栗田 隆 議員 13ページ

- ① これからの坂城町の教育について
- ② プラスチック容器包装の分別収集について

滝沢 幸映 議員 14ページ

- ① 令和元年東日本台風災害復旧と取り組みについて
- ② 町道整備について

山城 峻一 議員 14ページ

- ① 子ども達の豊かな心と体を育むために
- ② 新型コロナウイルスについて

大日向 進也 議員 15ページ

- ① 地域の活力と暮らしの豊かさを創生する坂城町について

塩野入 猛 議員 15ページ

- ① 令和2年度事業計画について
- ② 令和元年台風19号災害復旧について

小宮山 定彦 議員 16ページ

- ① 台風19号に関する検証作業について
- ② 避難情報について

朝倉 国勝 議員 16ページ

- ① 内水氾濫について
- ② 土地利用について
- ③ 新型コロナウイルス対策について

中島 新一 議員 17ページ

- ① 新型コロナウイルスについて
- ② さかき千曲川バラ公園について
- ③ 景観について

吉川 まゆみ 議員 17ページ

- ① 町道の安全対策について
- ② 子宮頸がん予防ワクチンについて
- ③ 町の顔・駅について

中嶋 登 議員 18ページ

- ① スマートタウンについて
- ② 名誉町民について
- ③ 新工業団地について

大森 茂彦 議員 18ページ

- ① 新型コロナウイルス対策は
- ② スマートタウン構想について
- ③ 加齢性難聴者の補聴器購入補助制度を

玉川 清史 議員 19ページ

- ① 商工業の振興について
- ② 町単補助工事について
- ③ 道路の安全について
- ④ 防災対策について

祢津 明子 議員 19ページ

- ① SDGs(持続可能な開発目標)について
- ② 教育について

災害復旧

事業の予算総額は

3億4185万6千円



滝沢 幸映 議員

問 台風19号災害による復旧事業費の財源の内訳と千曲川河川内施設の復旧工事の進捗状況は。

総務課長 国庫、県支出金の補助金と町債（借入後、元利償還額に対し交付税算入）を除き町の実質負担額は、一般財源7千82万7千円である。

町長 鼠橋運動公園マレットゴルフ場は、倒木等の伐採工事と片付けは完了し、3月中旬にはほ



災害復旧工事が進む上五明運動公園

ほ全コース原形復旧の見込みで4月からの利用を考えている。上五明運動公園は、土砂等のすき取り及び運搬作業は終了し、今後は各グラウンドの土の盛りつけ、クレー舗装を行い、トイレ等も設置予定で4月の使用開始に努める。

他の施設や農業災害も早期の復旧に取り組む。

町道拡幅と改良整備を
問 産業道路坂城高校南側カーブと同校登り口歯科医前鋭角交差点は、車両通行時、危険度が高い。拡幅及び改良を。

建設課長 町道カーブ拡幅については、事業認可がない中、町単独での実施は困難だが中長期的な事業計画を立てていく。鋭角交差点改良に伴う形状変更については、地元住民、公安委員会と相談しながら検討していく。

休校のプロセスは

緊急検討会を開き決定

新型コロナウイルス



山城 峻一 議員

への対応は。
教育長 学習面においては、通常の春休み帳やプリントを配付し、一年間の復習を休業中に行うようにした。なお、休業中、学級担任が、電話や家庭訪問により生活状況の確認を行っている。特に中学3年生については、学習において不明な点があ

れば個別に連絡を取り合い対応している。
問 休校中の児童館の受け入れ状況は。
教育長 3月3日より児童館の受け入れを行っているが、現在のところ大勢来館している状況ではない。

問 休校中の児童館の職員体制は。
教育長 児童館長もしくは支援員、補助員のほか小学校に配置している学校支援員の活用も考えている。

問 国からの要請に対して、どのようなプロセスで休校を決定したのか。
町長 まず、教育長と学校休業に伴う対応等協議し、その後、小中学校長、総括児童館長、給食センター所長、事務局が集まり緊急対応検討会を開催した。会議の中で、児童生徒の気持ちを準備する時間が必要との意見が出され、3月2日午後から休業にすることとした。



待ち遠しい学校生活



大日向 進也 議員

次期策定の流れは

長期総合計画との整合を図る

総合戦略

問 掲げている4つの基本目標は。

企画政策課長 人口ビジョンの目指すべき方向を踏まえ、「安定した雇用の確保と多様な就業機会を拡大する」「出産、子育て支援を充実して、町内で生まれ育つ子どもたちを

問 基本目標に掲げた事業の検証は。

企画政策課長 事業達成状況や効果については、より客観的に評価や検証を行っている。検証委員会を設置し、毎年、検証しホームページ等で結果を公表している。



人口ビジョンを見据えた戦略策定を

問 次期総合戦略策定の流れは。

町長 2年度において、町の最上位計画である第6次長期総合計画との整合を図る中で策定を進める。現在実施している住民アンケートや検証委員会及び策定懇話会などの意見を参考に、SDGsの新たなエッセンスも取り入れる中で次期計画の策定作業を進める。



計画策定が目白押し

企画政策課長 戸別受信機は、専用電波で情報手段として有効。日々変わりゆくICT技術等についても研究していく。

教育文化課長 マレットゴルフ場は、3月中旬に原形復旧を完了。運動公園は年度末竣工に努める。

建設課長 昭和橋は、3月末の工期から5月末へ2か月の延長。教育文化課長 マレット

問 千曲川河川敷施設の復旧状況は。また、災害状況や復旧作業により、問題・課題が集約されている中で、防災対策はどこまで進んでいるか。

台風19号災害復旧 を見定め、しばらく時間をかけて作る必要があると思っている。



塩野入 猛 議員

問 第3期山村町政の令和2年度の主要事業は。
町長 主要事業は、村上小学校へ蓄電池設備の設置、新工業団地の整備及び第6次長期総合計画をはじめとする数多くの重要な計画策定を考えている。

問 中心に商業、農業などを含めた、平成の時代の産業誌がまとめられる。私は「坂城町の町勢」といった産業を含む町の歴史を物語る記念誌が、合併60周年にふさわしいと思うが。

町長 町誌のようなものについては、歴史・文化

主要事業

令和2年度の主要事業は
村上小蓄電池などの3事業



小宮山 定彦 議員

問 台風19号から4ヶ月経った2月12日の信濃毎日新聞に、県内市町村の防災強化に向けての取り組み状況が紹介されていた。

を特定する方向で議論されているか。
総務課長 災害時に「住民の皆さんにどのような言葉や表現で避難情報を伝えるのが良いのか」といった点から、災害の状況によっては、対象区域を特定し発令することについて現在研究を進めて

避難勧告

発令対象地域の特定化は

現在研究を進めている



水害時、立ち退き避難の地域ごとの判断基準がわかります

問 避難勧告が発令された際、屋内安全確保の待避も避難行動であるが、町長 避難勧告は、避難の立ち退きを進め促すことである。

いる。
問 公助には限界がある。自主防災会や区との連携強化に向けてどんな具体的な方策が検討されているか。
総務課長 町職員が各自主防災会に出向き、避難情報の発令基準や避難場所、地域で行う防災訓練への助言、防災ハザードマップの見方、同報系防災行政無線や今後、供用開始となる移動系防災行政無線の使用方法などについて話すことも大事だと考えている。
問 避難勧告が発令された際、屋内安全確保の待避も避難行動であるが、町長 避難勧告は、避難の立ち退きを進め促すことである。

防災対策

町内河川の氾濫対策は

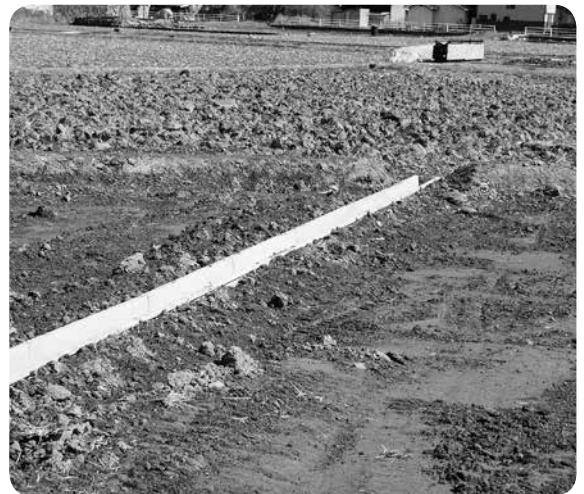
県等と連携し進める



朝倉 国勝 議員

問 昨年の台風19号において、当町でも一級河川、農業用水で内水氾濫が発生した。減災対策・恒久対策をどう考えるか。
建設課長 千曲川水系の大水を踏まえ、国・県と千曲川流域の41市町村は「緊急治水対策プロジェクト」を発足させた。

ハード対策ソフト対策を流域一体となつて推進することが確認された。この中で当町は、災害防止、軽減、逃げ遅れゼロ、社会経済被害の最小化を目指す。指し県等と連携した活動を行い町内河川の対策を実施していく。



工事が始まった国道バイパス

土地利用について
問 町のこれからの発展には土地利用の見直しが必要である。工場の拡張や複合施設の誘致では、町土が限られ、関係法令の規制もあり現状では極めて難しい。交通インフラの整備ができるこのタイミングで、これからの坂城の土地利用について見直しを行うべきと考えるが、町の考えは。
町長 限られた町土を有効に活用することは大変重要であり、交通インフラ整備を機に、将来を見据えた土地利用について考えるタイミングだと思う。将来的な町の在り方や、施策展開をイメージしながら考えていく。

感染症対策

町の対応と事業所支援は

対策本部・各窓口で対応



中島 新一 議員

ている。状況は日々変化している。今後、国や県の情報等把握し、適切な対策と町民の皆様への迅速な情報提供に努める。

問 新型コロナウイルス感染症への町の対応と事業所への支援策は。

答 福祉健康課長 町では、2月27日に町長を本部長に新型コロナウイルス対策本部を設置。状況の変化に応じて随時本部会議や連絡会議を開催している。町のホームページに感染症関連情報のコーナーを設け、相談先や中止・延期となった行事一覧などをまとめて掲載し、情報を常に更新し

が設けられ、資金繰り、所得の減少等を助成する制度が創設される。町内では、商工農林課及び商工会で対応していく。

バラ公園について

問 第15回ばら祭りに向けて駐車場の復旧状況は。

町長 今年度末には、駐車場の復旧工事が完了する。祭りは諸団体と協力し、他イベントともコラボして盛り上げ多くの来園者を迎えたい。



バラ公園名物 薔薇のトンネル

安全対策

横断歩道の設置は

当面は啓発用の旗で注意喚起



吉川 まゆみ 議員

問 町の中心にある文化センターと町体育館の今年度の利用状況は。

住民環境課長 大会議室での50名以上の参加は、昼間は48回延べ3743名が利用、体育館では26回延べ4340名が利用している。主な内容は各種競技団体の大会や各種団体の総会やイベントである。夜は主に各種競技団体やスポーツ少年団が体育館を利用している。

問 多くの方は施設利用のために、道路を挟んで体育館東側にできた駐車場から横断歩道のない町道を渡っている。大変危

険である。そのため町では、千曲警察署に継続して横断歩道の設置を要望してきたと聞いている。その後の進捗状況は。

住民環境課長 夢の湯駐車場南側既設の横断歩道があることから設置は難しいとのことである。



運転手さん、スピード落として！

問 既設の横断歩道を文化橋南に移設することで新たな横断歩道も距離的には設置可能になると考えられる。この案も視野に入れ、再度千曲警察署に要望をお願いしたい。

それまでの当面の具体的な安全対策への考えは。

住民環境課長 「スピード落とせ」といった啓発用の旗を付近に配置し、運転者への注意喚起を図っていく。

蓄電池

スマートエネルギー補助

予算を増額して対応



中嶋 登 議員

より、蓄電池に貯めて自家消費する流れになってきている。設置費用が高額のため、支援を継続し、今後も積極的に創・蓄・省エネルギーを推進する。2年度の予算を増額したので制度を活用してもらいたい。

問 蓄電池の補助金は、県下では4市町村のみである。我が坂城町は、補助の上限が20万円と県下でトップである。電気の地産地消の観点からも、より広く普及させるために予算を増額すべきだ。



広めよう 家庭用蓄電池

名誉町民の推挙を

問 昨年は、16年ぶりに名誉町民が誕生し、町で一番の明るい話題であったと思う。本町には、産業界で活躍されるとともに町公益のために尽力された方、文化・芸術・教育でも世界的に著名で、大いに活躍されている方々などを引き続き推挙すべきだ。

総務課長 名誉町民称号をお贈りした方々への感謝の念を大切にし、町の発展を願い、ふさわしい方の推挙を検討する。

加齢性難聴

補聴器購入に助成を

町単独では難しい



大森 茂彦 議員

問 高齢に伴い耳が聞こえにくくなり仕事や日常生活が不便になるため、補聴器は必需品である。

しかし、補聴器は平均価格で15万円と高額である。重度の難聴者には障害者認定での購入助成があるが、障害者認定の手前の境界上の難聴者には助成制度がない。研究・検討すべきと思うが。

福祉健康課長 加齢性難聴は、人との会話を避け



まだまだ高額な補聴器

る等外部からの刺激が少なくなり、脳機能が低下し認知症や孤立によるうつ状態になるとの指摘もある。18歳未満の軽度・中等度難聴児には、当町では助成制度があり、県から助成額の2分の1の財政支援がある。高齢者の中度・軽度の難聴の方は相当数いると推測するが、県でも助成制度がない。町単独助成は財政的にも慎重な対応が必要である。

「気候非常事態宣言」を

問 2050年までにCO₂の排出量を実質ゼロにするため、町も宣言は出せないか。

町長 町は早い段階から再生可能エネルギーの導入、ごみの排出抑制など温室効果ガスの削減による地球温暖化対策を進めてきており、現時点での宣言は考えていない。



玉川 清史 議員

商工業振興

小規模企業振興条例の 制定を

今ある施策の有効活用で

問 2014年に「小規模企業振興基本法」が制定され、全国商工会連合会の2018年の調査では、37都道府県、市町村の約31%が小規模と明記した条例を制定している。

町の小規模企業振興の立場の明示と政策の連続性、小規模企業の努力と町民の振興への理解による小規模企業の持続的発展が地域の活性化につながるように、「小規模企業振興条例」の制定を。

町長 「商工業振興条例」等に基づき、補助事業や町制度資金の貸付、保証料補給等の支援、さらに「コトづくりイノベーション補助金」「商業店舗リフォーム補助金」等で小規模事業者にも対応している。町商工会では、小規模事業者の事業の持続的発展のため「経営発達支援計画」による伴走型の支援・指導をしている。今ある支援策や補助制度などの有効活用で、事業の継続や成長につなげてほしいと考えている。



なんでも相談してください

避難所について

問 お寺を災害時の避難所として追加できないか。
町長 住民環境課長 個人等の所有物であるので、避難所指定は考えていないが、地域防災計画の見直しの中で研究していく。

問 どのように推進していくか。
町長 令和3年度からの「第6次長期総合計画」を策定していく中で、SDGs達成の観点を整理し、町の施策を通じてSDGsも推進していく。



柵津 明子 議員

SDGs

達成への取り組みは

全員参加型で

学びの改革について
ジ、学習会、講演会を通して、町全体でSDGs達成に向けて取り組んでいく気運を高めていきたい。

問 企業や町民に対する意欲喚起は。
町長 普段の生活の中で行っている食品ロスやごみ減量化、省エネに向けた行動が、結果としてSDGsにつながっていることを知っていただき、今後は広報、ホームページ

問 町の方向性は。
教育長 主体的・対話的で深い学びの実現を重点と位置づけ、今までのペア学習、グループ討議など学び合いの成果を大切に、子どもの実態に沿った幼保小中高の一貫した学びの改革を推進する。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



17の達成目標

AIの活用を学ぶ

総務産業常任委員会



温度 20℃± 0.5℃で一定
(坂城テクノセンター試験検査室)

総務産業常任委員会は、1月21日(火)坂城テクノセンターと松本市の県工業技術総合センターを視察研修した。

テクノセンターでは、試験・検査機器などの詳細な説明と各事業の実施状況について聞き取りを行った。今年度就任したセンター長からは、後継者問題、技術の継承、人材不足等町の製造業が抱える課題や展望を聞いた。

今後、新たな技術開発を進める上で、金属製3Dプリンターの導入も一つのテーマになるとのこと。

松本市の工業技術総合センターは、環境・情報部門と創業支援の役割を担う。昨年、新たに建設された「AI・IoT事業化開発センター」は、県施設初のZEB(実質ゼロエネルギービルディング)として、照明等の電力をすべて太陽光発電と蓄電設備で賄い、外部からのエネルギーを必要としない最先端の施設である。そこでは、IoT技術の導入、製品開発の事業化への支援について説明を聞いた。その技術・支援等は町内企業数社に活用されている。今回調査した両施設は、商工業振興を推し進める上で重要な役割を担うものであり、さらなる連携が望まれる。

(中島 新一)

ICT教育

社会文教常任委員会



これでうまくいくはずだけど...

社会文教常任委員会は、2月6日(木)県からICT教育の先端校に指定されている坂城小学校の取り組みを視察した。

ICTとは、インフォメーション・コミュニケーション・テクノロジの略で教育部門においてはタブレットの活用、プログラミング教育などを指す。実際に参観したのは5年生の「プログラミング教材を使った自動車を作ろう」という授業であった。ミニチュアカーを「スタートさせ1メートル直

進」「サーキットのカーブで90度旋回」といったことをグループになった児童たちが話し合いながら試行錯誤を重ねプログラミングしていく。児童たちの前向きな姿勢、楽しそうに共同作業する様子は、指導する先生の好感の持てる態度とともに印象的であった。

ICT教育で一体何が変わるのか。今までの教育の主眼は「いかに大衆を標準化するか」であったが、標準的な仕事は機械が行う世界では機械とダブった能力は不要である(例えば自動運転、自動翻訳)。2000年に政府が策定した「ICT政策大綱」では「個々の生徒に最適な『教育』の提供」とある。しかし、その『教育』の内容がどのようなものなのかは、誰の頭にも明確な像が浮かんでいない。今後、真剣に考えるべき課題だと思ふ。

(栗田 隆)

坂城町の未来を考える

坂城中3年生による 模擬議会を開催

1月24日(金)、役場4階の議場で、坂城中学校3年生の生徒による模擬議会が開かれた。

西沢議長の議事進行のもと、6人の生徒が町の施策について質問し、山村町長ほか町の担当課長が答弁するという実際の町議会と同じ形式で行われた。

中学では、1学年次から総合的な学習を継続して実施しており、その一



環として、授業や職場体験を通じて感じた町への疑問や要望などを、生徒が実際の議会形式に則り質問したものである。

緊張した様子の中から、「坂城どんどんについて」「高齢者の交通対



策について」「病児・病後児保育について」「不法投棄防止について」「ばら祭りについて」「防災対策について」の6項目について堂々と質問した。

参加した生徒からは、「台風など有事の際は、油断のない丁寧な対応をしていただき、安心して住める町だと思った」「模擬議会に参加したことで毎日見るニュースや町からのお知らせに対して見方が変わった」などのほか、3年後に選挙権を持つことへも関心がいき、「自分の一票に責任が持てる大人になりたい」との感想も寄せられた。

研修報告

議員研修会を開催

「地方自治とは何か」
「地方議会と議員の役割」

触れ、環境活動家グレッタさんを例に、環境問題は現場で起きている地域問題であるとした。日本では過去の様々な公害問題を背景に、憲法には無い「環境権」を地方自治体が作り出したと説かれた。

市町村の合併問題では、明治期7万程の町村がその後の合併を経て、平成の大合併で1700余りにまで減少した。しかし、町や村の名前は無くなったも、そこにあった地域社会は依然として残って

いる。当町の27区にある公民館分館活動は大変素晴らしい取り組みと、評価された。

当町の町民憲章の中にある「いま、歴史の大きな進展の時を迎え」、その時に、私たちの役割が求められる存在でなければと、痛感した。

(滝沢 幸映)

※「地球市民」平和、環境、貧困など地球規模の課題解決に向け、地球に住む一員として考え行動する人々

町議会は、2月4日(火) NPO法人多摩住民自治研究所「議員の学校」学校長の池上洋道氏を講師に迎え議員研修会を開催した。

池上先生はフリーライターを経て、日野市職員として勤務。現場での豊富な経験を踏まえ、市町村が抱える問題点を明らかにし、その打開を目指す研究活動を行っている。

※講演は国連宣言された「地球市民」の考え方に



あすなろたち

心・技・体を鍛える

凜として

スポーツ少年団なぎなた部

スポーツ少年団なぎなた部は、坂城町武道館で毎週土曜日に稽古をしています。

町の沢山の方々に支えられ、令和2年度には創立45周年を迎えます。老若男女、世代を問わず和気あいあいと活動をしています。

なぎなたには二人一組で決まった形を行う演技競技と、防具をつけて試合を行う試合競技があります。子どもたちは県大会や審査会、夏に全国の小中学生を対象に東京の日本武道館で行われる錬成大会などを目標に日々稽古

に励んでいます。

演技競技と試合競技のどちらにおいても、技の正確さはもちろんのこと、発声や体さばきなどの要素を身に付けることが必要です。また、武道であるなぎなたは「礼に始まり礼に終わる」といった礼儀作



法や武道の精神なども大切にしています。

学校教育では触れる機会がありませんからこそ、ほとんどの人が同じスタートラインから始められ、指導もそれぞれのレベルにあった内容です。稽古は決して楽しいだけではありませんが、先生や先輩方はみんな丁寧な指導をしてください。

興味のある方は、ぜひ一度見学にいらしてください。
(スポーツ少年団
なぎなた部 神林 春美)

余光

◆千円札とコロナウイルス。一見何の脈絡もない二つのことが、一方が他方を鮮やかに予感していたかのように、起ることがある。
◆千円札の顔が野口英世から北里柴三郎に替わる。この交代を検討していた人々の頭には、今、世界を震撼させているコロナウイルスのことなど微塵もなかったであろう。

◆北里は、香港で起こった感染症をねずみが媒介するペスト菌が原因と特定し、ねずみを駆除することでいち早く終息させた。
◆弟子である野口は、アメリカで猖獗を極めていた黄熱病を「細菌」によるものと考え「ウイルス説」と対立、自説を証明するためアフリカに渡り「黄熱病ウイルス」に感染して51歳の生涯を閉じた。今の人達位の慎重さがあればと惜しまれる。
(栗田 隆)

発行責任者 議長
西沢 悦子
議会報編集委員会

委員長 小宮山定彦
副委員長 山城 峻一
委員 玉川 清史
栗田 隆
大日向進也